

令和4年度 学校自己評価シート

令和5年3月
県立篠山東雲高等学校

<p>(1) 教育目標</p> <p>ア『愛の教育』の推進 分校時代から続く建学の精神である『愛郷・愛農の志ここに生きる』に基づき、すべての人や自然・動植物を愛する心を育てる教育を推進する。</p> <p>イ「明るく、楽しく、活力ある学校」の創造 自ら考え自ら行動できるよう何事にも建設的・前向きに取り組む精神を養い、生徒の自発的な意欲が学習活動・学校生活全般に生かされるよう教育活動や学校運営に努める。</p> <p>ウ 安全・安心な学校づくり 生徒自ら、心身の安全を確保することのできる基礎的な資質・能力を育成するなど安全教育の充実を図るとともに、教職員の危機管理能力の向上に努め、安全・安心な学校づくりを行う。</p>
<p>(2) 本年度の重点目標</p> <p>ア 生徒の学力・人間性・体力を伸ばし、社会から信頼される人づくり（生徒が伸びる学校） イ 地域と連携し、地域と共に歩む開かれた学校づくり（地域に愛される学校） ウ 教育のプロとしての教職員の資質の向上（教職員も伸びる学校） エ 未来への土台作り（安定した学校）</p>
<p>学校自己評価結果（4：すごく思う・すごくできている、3：思う・できている、 2：あまり思わない・あまりできていない、1：全く思わない・全くできていない）</p> <p>平均点として点数化している。評価（ A：3.3以上、B：3.2～2.5、C：2.4～1.8、D：1.7以下 ）</p>

ア 生徒の学力・人間性・体力を伸ばし、社会から信頼される人づくり（生徒が伸びる学校）

No.	実践項目	点数	評価
1	生徒が主体的に授業に取り組むための工夫をしていますか。	3.2	B
2	進路HRなどを通して進路選択の方法や指導ができていますか。	2.9	B
3	学校行事において、生徒が計画・実行できるような指導ができていますか。	3.0	B
4	生徒の関わりから本校の魅力を他の職員と共有できていますか。	3.2	B
5	生徒の進路実現に向けて、進路指導体制が整っていますか。	3.3	A
6	生徒が主体となり学校行事を運営できるように指導ができていますか。	3.0	B
7	生徒に対して個性に応じたきめ細かな指導ができていますか。	3.3	A
8	人前で発表をするための指導ができていますか。	3.0	B
9	生徒が安心して生活するために、いじめ、不登校の防止に努めていますか。	3.2	B
10	保健だよりの発行や感染症予防の指導など、各種保健指導ができていますか。	3.3	A
11	特別な支援が必要な生徒に対しての相談や専門家の意見を反映した指導ができていますか。	3.3	A

イ 地域と連携し、地域と共に歩む開かれた学校づくり（地域に愛される学校）

No.	実践項目	点数	評価
12	高校生活を通して、地域に貢献できるような活動に参加するように指導ができていますか。	3.1	B
13	地域防災の興味関心を高められていますか。	2.5	B
14	学校の施設の清掃整備を行い、学校の環境美化を推奨ができていますか。	3.0	B
15	生徒に勤労観を身につけさせることができていますか。	3.2	B

ウ 教育のプロとしての教職員の資質向上（教職員も伸びる学校）

No.	実践項目	点数	評価
16	ICT（タブレット等）を活用した授業により、主体的・対話的で深い学びができていますか。	3.1	B
17	教科「農業」の学習内容は、適切なものになっていますか。	3.3	A
18	類型選択に向けて各類型の内容等を生徒に十分理解させていますか。	3.1	B
19	各類型学習は、生徒が魅力を感じる様な充実した内容になっていますか。	3.3	A
20	生徒は実習作業によって責任感を身につけられるように指導ができていますか。	2.9	B
21	「課題研究」など類型学習において各生徒の取り組み状況が充実したものになるような指導ができていますか。	3.4	A
22	「現場実習」において、各生徒の知識・技術習得に向けた指導ができていますか。	3.0	B

エ 未来への土台作り（安定した学校）

No.	実践項目	点数	評価
23	卒業後の進路に向けて、必要な資格などを取得させることができていますか。	2.8	B
24	進路学習を通して、生徒に職業について考えさせることができていますか。	2.8	B
25	キャリア教育などを通して、生徒に職業について考えさせることができていますか。	2.9	B

学校関係者評価

・2年次より類型に分かれ、生徒の興味関心からの選択に加え、少人数教育を可能とし、コミュニケーション力、表現力、自己開発を進めていくのに有利だと考える。この取り組みが「生徒が伸びる学校」に繋がる。

・地域・学校環境の美化活動は地域・学校にとって、また生徒自身の安全・安心に通じる点からも大切な取り組みと考える。

・いろいろな取り組みを行っていることは、とても素晴らしいことである。生徒が、学校に行けば、保護者としては安心してできる。

・過去は、生徒、保護者のアンケート評価が高いのに、教師が低かったが、今年度は、教職員の評価も良くなっているのを見て安心してている。

・オープンハイスクールの意義や内容、どのような目的で行っているのかを明確にすべきである。

・生徒の上下関係や、先生方との関係も非常に良いのが実感できる。

・生徒が困っていることを解消すべく、教職員で話し合い、学校として何ができるのかを考え取り組んでいることが安心してできる。

・スマート農業、農業ドローンの充実、いろいろなライセンスなどが取れるような取り組みも必要と考えるので、今後は率先して取り組んでいただきたい。

・立派な肉牛を育て販売しているような命の教育として取り組んでいることが素晴らしい。

・自主性を前面にだし、論理的に道筋を立てて話せることや、正しい物の言い方ができることや、必要なことを今後も伸ばしていける教育を続けてほしい。

・安心・安全な学校として、未然に防ぐことができることを、教職員で考え取り組んでいくべきである。

・BYODを活用することは、非常にいいことだが、その弊害も考える必要がある。学習として必要なことは、教員として生徒に伝えていってほしい。良い面、悪い面を考えながらタブレットやスマホを活用するべきである。

・学校での取り組みなどの情報を発信・広報し、更に地域と連携し開かれた学校づくりに尽力してほしい。